

本 学 で の 履 修

高校までの学習と異なり、短大では各自が履修したい科目を自由に受講できるということが基本原則である。ただし卒業するためには、以下に説明する一定の卒業要件を満たすことが必要である。言い換えると、この卒業要件さえ満たしていれば、例えば特定の曜日や特定の時間帯に講義を集中して履修するというように、自分の希望する条件に合わせた履修の方法も可能となる。

履修科目の選択にあたっては、必ずしも履修した単位が全部取得できるとは限らないという点に、特に留意する必要がある。従って、卒業要件に対して何単位か余裕をもって履修しておくことが大事である。その努力を惜しんで、卒業に必要最低限の単位しか選択していないと、単位取得が出来ない科目があった場合、例えば就職は決まったのに卒業が出来ず、結果として就職そのものも取り消しになってしまうことが起こり得る。

履修にあたっては、入学年度の授業科目配置表に配置してある科目の中から選択を行うものとする。

履修届は、前期・後期配当科目とも、原則として、履修届提出期間（前期4月9日（月）～4月16日（月）、後期：9月21日（金）～9月28日（金））に提出することを要し、履修届提出期間を過ぎた履修は認められない。

履修の取り消しについては、前・後期配当科目とも、取り消し期間中の取り消しのみ、届け出により認められる（取り消し期間については別途掲示で指示する）。

次頁以降の説明をよく理解して、間違いのないように科目を選択して履修する必要がある。

履修と進級・卒業要件（2018年度入学生）

1年次において、40単位以上の単位を取得すること

1年次から2年次に進級するためには、1年次において40単位以上の単位を取得することが必要とされる。

総単位数68単位を取得すること

卒業要件の第1は、卒業までに68単位以上の単位を取得することである。「授業科目配置表」をみるとわかるように、各科目にはそれぞれの4単位、2単位、1単位の単位数がそれぞれ付与されている。科目を選択し、講義を受講し、試験に合格すると、所定の単位が認定される。

この単位数の総計が、卒業時までに68単位以上必要であるというのが第1の卒業要件である。2年次になると、卒業論文の作成・就職活動などに多くの時間が必要になり、また指定校推薦大学等への編入学には、1年次の成績が考慮されるので、履修科目が極端に少ないと不利になるため、就職時の学長推薦の条件として「1年次で40単位以上の単位の取得」が内規として決められていることから、1年次で可能な限り多くの科目を履修しておくことが望ましい。

なお、単位を取得した科目の再履修はできない。また、取得総単位の上限についての制限はない。

基礎科目8科目、専門科目20科目以上の科目の単位を取得すること

本学に設置してある科目は、大きく「基礎科目」と「専門科目」の2つに分けられる。このうち「基礎科目」は、人文系、社会系、自然系、外国語、キャリア支援、保健体育、公開講座の各分野から構成されている。「専門科目」は、交通科目群、観光科目群、経済・経営・情報科目群、専門ゼミの各科目群に分類されている。

第2の卒業要件は、卒業時までに、この「基礎科目」から8科目以上、「専門科目」から20科目以上の科目の単位を取得するということである。

原則的には「基礎科目」は1年次に配置され、「専門科目」は2年次に配置されている。また1年次は2年次配置の科目を履修できないことになっているため、1年次の履修は「基礎科目」を中心としたものとなる。

前述したように、履修した科目の単位が取得できないことがあるので「余裕をもった履修をする」ということが、1、2年次に共通する履修の要点といえる。特に、4年制大学への編入学を希望している学生は、基礎科目（特に語学、保健体育理論、体育実技）を多めに履修することが望ましい。

2年次配置科目の中から、10科目以上の科目の単位を取得すること

第3の卒業要件として、2年次において、2年次配置科目の中から10科目以上の科目の単位を取得することが課せられる。2年次に1年次配置科目を履修することもできるが、その分

はこの要件にはカウントされない。

基礎ゼミ・実務基礎能力論・情報リテラシーA/B・専門ゼミを履修し、その科目の単位を取得すること

第4の卒業要件として、1年次において、基礎ゼミ・実務基礎能力論を履修し、また、2年次において専門ゼミ・情報リテラシーA/Bを履修し、その科目の単位を取得することが課せられる。基礎ゼミ・実務基礎能力論・情報リテラシーA/Bに関しては、いずれもクラス分けが行われ、その内いずれか1つのクラスを履修することになる。

また、専門ゼミは、1年次で学んだことを基礎として、各自がさらに深く学びたい分野について、担当教員から指導を受けるという科目であり、2年次の学生は、必ずいずれか1つのゼミを選択し、その単位を取得することが課せられる。

以上の卒業要件を満たしていれば、各自の履修目的に応じた履修が可能となる。

○「専門ゼミ」の履修

専門ゼミの履修に関しては、1年次の後期に学生から希望するゼミを募り、教務で決定する。具体的な方法については、掲示等によって指示する。

○「専門ゼミ」発表会・説明会

日時 12月21日（金）

時間・実施内容については掲示する。

この発表会では、2年次生が、卒業論文の題目に沿った発表を行うと共に、各ゼミの担当教員がゼミの説明を行う。

1年次生は、「専門ゼミ発表会」に、必ず出席しなければならない。

○「専門ゼミ」合宿

毎年原則として夏休みに行われる。場所、期間は自由で、ゼミ生の総意で決める。参加者には学校より補助金が支給される。このためゼミで選出された会計係は、その他のゼミ活動の経費の明細と併せ、10月末日までに事務局に収支を報告する。

○「卒業論文」

提出された「卒業論文」は、各ゼミ担当員の責任の下保管される。

また、各ゼミごとに担当教員が優秀論文を2、3編選び、卒業式までに「学生論文集」を製作する。なお、卒業論文は、原則として、パソコンによって作製されたもの（A4版）を電子ファイルと共に提出すること。

履修と進級・卒業要件（2017年度以前入学生）

1年次において、40単位以上の単位を取得すること

1年次から2年次に進級するためには、1年次において40単位以上の単位を取得することが必要とされる。

総単位数66単位を取得すること

卒業要件の第1は、卒業までに66単位以上の単位を取得することである。「授業科目配置表」をみるとわかるように、各科目にはそれぞれの4単位、2単位、1単位の単位数がそれぞれ付与されている。科目を選択し、講義を受講し、試験に合格すると、所定の単位が認定される。

この単位数の総計が、卒業時までに66単位以上必要であるというのが第1の卒業要件である。2年次になると、卒業論文の作成・就職活動などに多くの時間が必要になり、また指定校推薦大学等への編入学には、1年次の成績が考慮されるので、履修科目が極端に少ないと不利になるため、就職時の学長推薦の条件として「1年次で40単位以上の単位の取得」が内規として決められていることから、1年次で可能な限り多くの科目を履修しておくことが望ましい。

なお、単位を取得した科目の再履修はできない。また、取得総単位の上限についての制限はない。

基礎科目8科目、専門科目20科目以上の科目の単位を取得すること

本学に設置してある科目は、大きく「基礎科目」と「専門科目」の2つに分けられる。このうち「基礎科目」は、人文系、社会系、自然系、外国語、キャリア支援、保健体育、公開講座の各分野から構成されている。「専門科目」は、交通科目群、観光科目群、経済・経営・情報科目群、専門ゼミの各科目群に分類されている。

第2の卒業要件は、卒業時までに、この「基礎科目」から8科目以上、「専門科目」から20科目以上の科目の単位を取得するということである。

原則的には「基礎科目」は1年次に配置され、「専門科目」は2年次に配置されている。また1年次は2年次配置の科目を履修できないことになっているため、1年次の履修は「基礎科目」を中心としたものとなる。

前述したように、履修した科目の単位が取得できないことがあるので「余裕をもった履修をする」ということが、1、2年次に共通する履修の要点といえる。特に、4年制大学への編入学を希望している学生は、基礎科目（特に語学、保健体育理論、体育実技）を多めに履修することが望ましい。

2年次配置科目の中から、10科目以上の科目の単位を取得すること

第3の卒業要件として、2年次において、2年次配置科目の中から10科目以上の科目の単位を取得することが課せられる。2年次に1年次配置科目を履修することもできるが、その分

はこの要件にはカウントされない。

基礎ゼミ・実務基礎能力論・コンピュータ実習・専門ゼミを履修し、その科目の単位を取得すること

第4の卒業要件として、1年次において、基礎ゼミ・実務基礎能力論を履修し、また、2年次において専門ゼミ・コンピュータ実習を履修し、その科目の単位を取得することが課せられる。基礎ゼミ・実務基礎能力論・コンピュータ実習に関しては、いずれもクラス分けが行われ、その内いずれか1つのクラスを履修することになる。

また、専門ゼミは、1年次で学んだことを基礎として、各自がさらに深く学びたい分野について、担当教員から指導を受けるという科目であり、2年次の学生は、必ずいずれか1つのゼミを選択し、その単位を取得することが課せられる。

以上の卒業要件を満たしていれば、各自の履修目的に応じて、後述の「カリキュラムマップ（目標に合わせた履修例）」のような履修が可能となる。

○「専門ゼミ」の履修

専門ゼミの履修に関しては、1年次の後期に学生から希望するゼミを募り、教務で決定する。具体的な方法については、掲示等によって指示する。

○「専門ゼミ」発表会・説明会

日時 12月21日（金）

時間・実施内容については掲示する。

この発表会では、2年次生が、卒業論文の題目に沿った発表を行うと共に、各ゼミの担当教員がゼミの説明を行う。

1年次生は、「専門ゼミ発表会」に、必ず出席しなければならない。

○「専門ゼミ」合宿

毎年原則として夏休みに行われる。場所、期間は自由で、ゼミ生の総意で決める。参加者には学校より補助金が支給される。このためゼミで選出された会計係は、その他のゼミ活動の経費の明細と併せ、10月末日までに事務局に収支を報告する。

○「専門ゼミ」論文

提出された卒業論文は、各ゼミ担当員の責任の下保管される。

また、各ゼミごとに担当教員が優秀論文を2、3編選び、卒業式までに「学生論文集」を製作する。なお、卒業論文は、原則として、パソコンによって作製されたもの（A4版）を電子ファイルと共に提出すること。